

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年3月3日(2016.3.3)

【公表番号】特表2015-505561(P2015-505561A)

【公表日】平成27年2月23日(2015.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-012

【出願番号】特願2014-555630(P2014-555630)

【国際特許分類】

A 01N	43/56	(2006.01)
A 01N	43/80	(2006.01)
A 01N	43/78	(2006.01)
A 01N	43/40	(2006.01)
A 01N	43/54	(2006.01)
A 01N	47/18	(2006.01)
A 01N	43/60	(2006.01)
A 01N	37/18	(2006.01)
A 01N	43/10	(2006.01)
A 01N	37/36	(2006.01)
A 01N	43/90	(2006.01)
C 07C	255/17	(2006.01)
C 07C	323/29	(2006.01)
C 07C	331/28	(2006.01)

【F I】

A 01N	43/56	C
A 01N	43/80	1 0 1
A 01N	43/78	B
A 01N	43/40	1 0 1 D
A 01N	43/54	C
A 01N	43/54	G
A 01N	47/18	1 0 1 A
A 01N	43/60	
A 01N	37/18	Z
A 01N	43/10	F
A 01N	37/36	
A 01N	43/90	1 0 3
C 07C	255/17	C S P
C 07C	323/29	
C 07C	331/28	

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月15日(2016.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

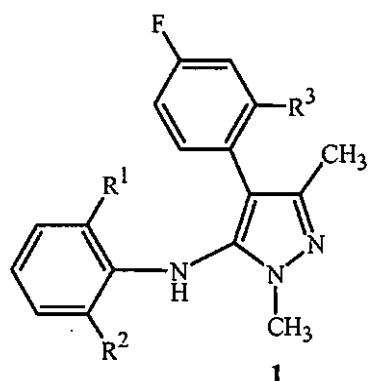
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 式1の化合物、そのN-オキシドおよび塩から選択される少なくとも1種の化合

物と  
【化1】

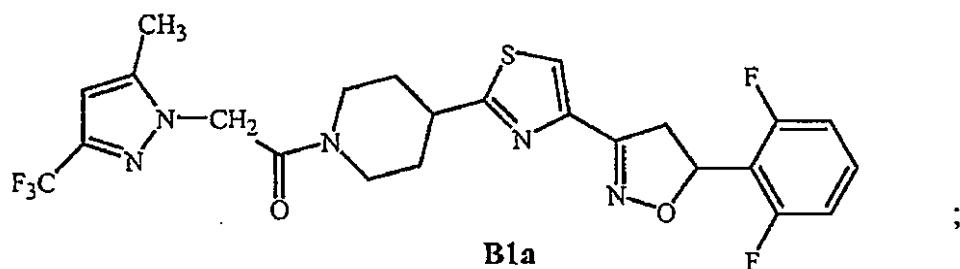


(式中、  
R<sup>1</sup>はC1、R<sup>2</sup>はF、およびR<sup>3</sup>はC1もしくはBrであるか：または  
R<sup>1</sup>はBr、R<sup>2</sup>はF、およびR<sup>3</sup>はC1である)

(b)

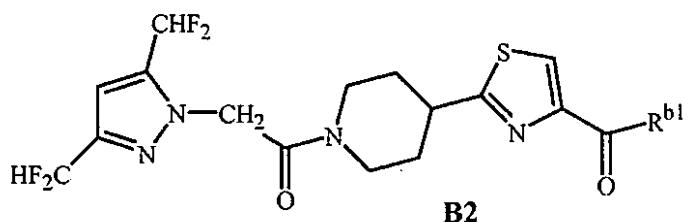
(b1a)

【化2】



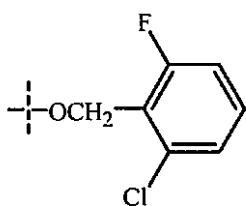
(b2)

【化3】

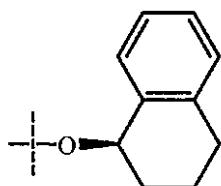


(式中、R<sup>b1</sup>は

【化4】

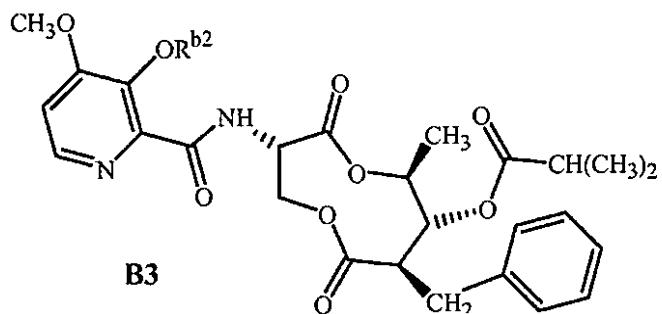


または



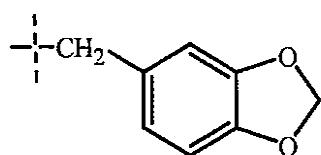
である)；  
(b3)

【化5】



(式中、 $R^{b2}$ は、 $-CH_2OC(=O)CH(CH_3)_2$ 、 $-C(=O)CH_3$ 、 $-CH_2OC(=O)$   
 $OCH_3$ 、 $-C(=O)OC_2CH_2CH(CH_3)_2$ または

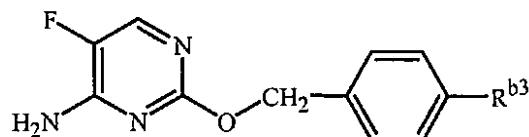
【化6】



である) ;

(b4)

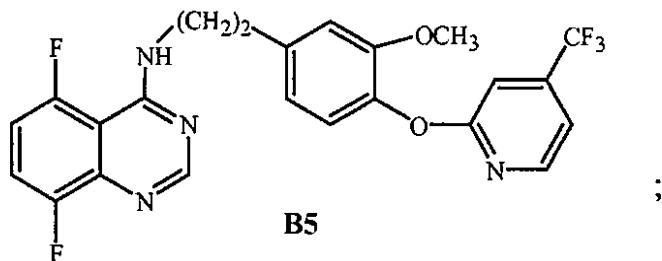
【化7】

**B4**

(式中、 $R^{b3}$ は $CH_3$ または $F$ である) ;

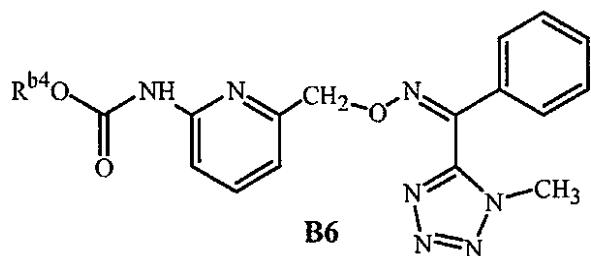
(b5)

【化8】



(b6)

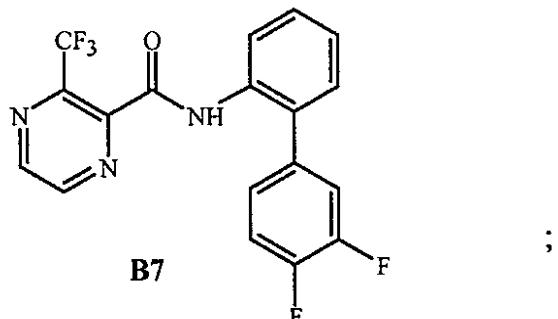
【化9】



(式中、R<sup>b4</sup>は、- (C H<sub>2</sub>)<sub>4</sub> C H<sub>3</sub>、- C (C H<sub>3</sub>)<sub>3</sub>または- (C H<sub>2</sub>)<sub>2</sub> C C Hである) ;

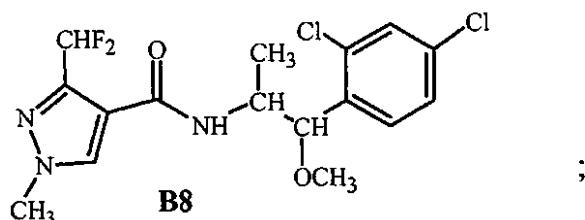
(b 7)

【化10】



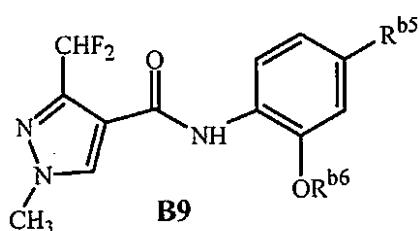
(b 8)

【化11】



(b 9)

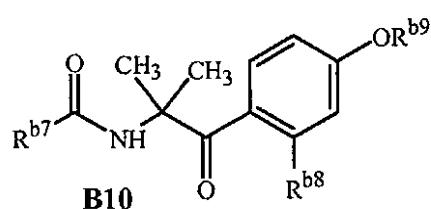
【化12】



(式中、R<sup>b5</sup>はHまたはFであり、および、R<sup>b6</sup>は、- C F<sub>2</sub> C H F C F<sub>3</sub>または- C F<sub>2</sub> C F<sub>2</sub> Hである) ;

(b 10)

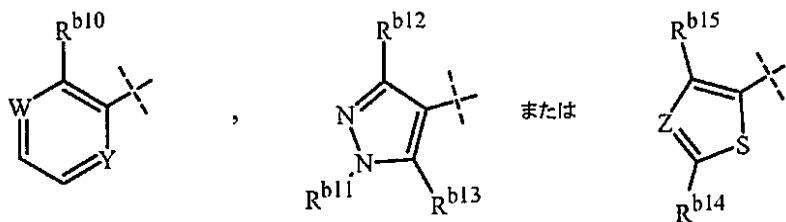
【化13】



(式中、

R<sup>b7</sup>は

## 【化14】



であり；

R<sup>b8</sup>はH、ハロゲンまたはC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>アルキルであり；

R<sup>b9</sup>は、C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>ハロアルキルまたはC<sub>2</sub>～C<sub>8</sub>アルコキシアルキルであり；

R<sup>b10</sup>は、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>アルキルまたはC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>ハロアルキルであり；

R<sup>b11</sup>は、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>アルキルまたはC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>ハロアルキルであり；

R<sup>b12</sup>はC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>アルキルであり；

R<sup>b13</sup>は、H、ハロゲンまたはC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>アルキルであり；

R<sup>b14</sup>は、C<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>アルキルまたはC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>ハロアルキルであり；

R<sup>b15</sup>は、H、C<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>アルキルまたはC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>ハロアルキルであり；

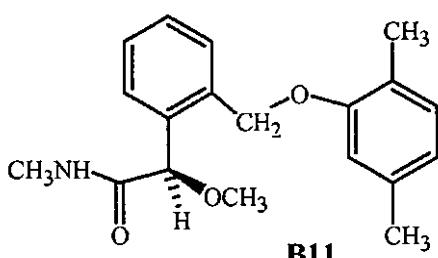
WはCHまたはNであり；

YはCHまたはNであり；および

ZはCHまたはNである)；

(b11)

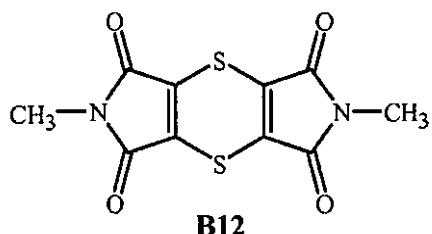
## 【化15】



または

(b12)

## 【化16】



から選択される少なくとも1種の殺菌・殺カビ性化合物とを含む殺菌・殺カビ組成物およびその塩。

## 【請求項2】

コンポーネント(a)が、

4-(2-クロロ-4-フルオロフェニル)-N-(2-クロロ-6-フルオロフェニル)-1,3-ジメチル-1H-ピラゾール-5-アミン、および

4-(2-ブロモ-4-フルオロフェニル)-N-(2-クロロ-6-フルオロフェニ

ル) - 1 , 3 - ジメチル - 1H - ピラゾール - 5 - アミン  
からなる群から選択される化合物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 3】

- コンポーネント (c) が：
- (c 1) メチルベンズイミダゾールカルバメート殺菌・殺カビ剤；
  - (c 2) ジカルボキシイミド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 3) 脱メチル化抑制殺菌・殺カビ剤；
  - (c 4) フェニルアミド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 5) アミン / モルホリン殺菌・殺カビ剤；
  - (c 6) リン脂質生合成抑制殺菌・殺カビ剤；
  - (c 7) カルボキサミド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 8) ヒドロキシ (2 - アミノ - ) ピリミジン殺菌・殺カビ剤；
  - (c 9) アニリノピリミジン殺菌・殺カビ剤；
  - (c 10) N - フェニルカルバメート殺菌・殺カビ剤；
  - (c 11) キノン外部抑制殺菌・殺カビ剤；
  - (c 12) フェニルピロール殺菌・殺カビ剤；
  - (c 13) キノリン殺菌・殺カビ剤；
  - (c 14) 脂質過酸化抑制殺菌・殺カビ剤；
  - (c 15) メラニン生合成抑制 - レダクターゼ殺菌・殺カビ剤；
  - (c 16) メラニン生合成抑制 - デヒドラターゼ殺菌・殺カビ剤；
  - (c 17) ヒドロキシアニリド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 18) スクアレン - エポキシダーゼ抑制殺菌・殺カビ剤；
  - (c 19) ポリオキシン殺菌・殺カビ剤；
  - (c 20) フェニル尿素殺菌・殺カビ剤；
  - (c 21) キノン内部抑制殺菌・殺カビ剤；
  - (c 22) ベンズアミド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 23) エノピラヌロン酸抗菌殺菌・殺カビ剤；
  - (c 24) ヘキソピラノシリル抗菌殺菌・殺カビ剤；
  - (c 25) グルコピラノシリル抗菌 : タンパク質合成殺菌・殺カビ剤；
  - (c 26) グルコピラノシリル抗菌 : トレハラーゼおよびイノシトール生合成殺菌・殺カビ剤；
  - (c 27) シアノアセタミドオキシム殺菌・殺カビ剤；
  - (c 28) カルバメート殺菌・殺カビ剤；
  - (c 29) 酸化性リン酸化脱共役殺菌・殺カビ剤；
  - (c 30) 有機錫殺菌・殺カビ剤；
  - (c 31) カルボン酸殺菌・殺カビ剤；
  - (c 32) 芳香族複素環式殺菌・殺カビ剤；
  - (c 33) ホスホネート殺菌・殺カビ剤；
  - (c 34) フタルアミド酸殺菌・殺カビ剤；
  - (c 35) ベンゾトリアジン殺菌・殺カビ剤；
  - (c 36) ベンゼン - スルホニアミド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 37) ピリダジノン殺菌・殺カビ剤；
  - (c 38) チオフェン - カルボキサミド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 39) ピリミジンアミド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 40) カルボン酸アミド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 41) テトラサイクリン抗菌殺菌・殺カビ剤；
  - (c 42) チオカルバメート殺菌・殺カビ剤；
  - (c 43) ベンズアミド殺菌・殺カビ剤；
  - (c 44) 宿主植物防御誘起殺菌・殺カビ剤；
  - (c 45) 多部位接触作用殺菌・殺カビ剤；

(c46) コンポーネント(a)およびコンポーネント(c1)～(c45)の殺菌・殺カビ性化合物以外の殺菌・殺カビ性化合物；ならびに、(c1)～(c46)の化合物の塩

からなる群から選択される少なくとも1種の殺菌・殺カビ性化合物をさらに含む、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】

アシベンゾラル - S - メチル、アルジモルフ、アメトクトラジン、アミスルプロム、アニラジン、アザコナゾール、アゾキシストロビン、ベナラキシリ、ベナラキシリ - M、ベノダニル、ベノミル、ベンチアバリカルブ、ベンチアバリカルブ - イソプロピル、ベトキサジン、ビナパクリル、ビフェニル、ビテルタノール、ビキサフェン、プラスティジン - S、ボスカリド、ブロムコナゾール、ブピリメート、ブチオベート、カルボキシン、カプロパミド、カプタホール、キャプタン、カルベンダジム、クロロネブ、クロロタロニル、クロゾリネット、クロトリマゾール、銅塩、シアゾファミド、シフルフェナミド、シモキサニル、シプロコナゾール、シプロジニル、ジクロフルアニド、ジクロシメット、ジクロメジン、ジクロラン、ジエトフェンカルブ、ジフェンコナゾール、ジフルメトリム、ジメチリモール、ジメトモルフ、ジモキシストロビン、ジニコナゾール、ジニコナゾール - M、ジノカップ、ジチアノン、ドデモルフ、ドジン、エディフェンホス、エネストロビン、エポキシコナゾール、エタコナゾール、エタボキサム、エチリモール、エトリジアゾール、ファモキサドン、フェンアミドン、フェナリモル、フェンブコナゾール、フェンフラム、フェンヘキサミド、フェノキサニル、フェンピクロニル、フェンプロピジン、フェンプロピモルフ、フェンピラザミン、酢酸トリフェニルスズ、塩化トリフェニルスズ、トリフェニルスズヒドロキシド、フェルバム、フェリムゾン、フルアジナム、フルジオキソニル、フルメトベル、フルモルフ、フルオピコリド、フルオピラム、フルオロイミド、フルオキサストロビン、フルキンコナゾール、フルシラゾール、フルスルファミド、フルチアニル、フルトラニル、フルトリアホール、フルキサビロキサド、ホルペット、ホセチル - アルミニウム、フベリダゾール、フララキシリ、フラメトピル、ヘキサコナゾール、ヒメキサゾール、グアザチン、イマザリル、イミベンコナゾール、イミノクタジン、ヨードカルブ、イブコナゾール、イブロベンホス、イブロジオン、イブロバリカルブ、イソプロチオラン、イソピラザム、イソチアニル、カスガマイシン、クレソキシム - メチル、マンコゼブ、マンジプロパミド、マンネブ、メプロニル、メプロチルジノカップ、メタラキシリ、メタラキシリ - M、メトコナゾール、メタルホカルブ、メチラム、メトミノストロビン、メパニピリム、メトラフェノン、ミクロブタニル、ナフチフィン、ネオアソジン(メタルソン酸第二鉄(ferric methanearsonate))、ヌアリモル、オクチリノン、オフレース、オリザストロビン、オキサジキシリ、オキソリン酸、オキスピコナゾール、オキシカルボキシン、オキシテトラサイクリン、ペンコナゾール、ペンシクロン、ペンフルフェン、ペンチオピラド、ペフラゾエート、亜リン酸およびその塩、フタリド、ピコキシストロビン、ピペラリン、ポリオキシン、プロベナゾール、プロクロラズ、プロシミドン、プロパモカルブ、プロパモカルブ - 塩酸塩、プロピコナゾール、プロピネブ、プロキナジド、プロチオカルブ、プロチオコナゾール、ピラクロストロビン、ピラメストロビン、ピラオキシストロビン、ピラゾホス、ピリベンカルブ、ピリブチカルブ、ピリフェノックス、ピリメタニル、ピリオフェノン、ピロキロン、ピロールニトリン、キンコナゾール、キノメチオネット、キノキシフェン、キントゼン、セダキサン、シルチオファム、シメコナゾール、スピロキサミン、ストレプトマイシン、硫黄、テブコナゾール、テブフロキン、テクロフタラム、テクナゼン、テルビナфин、テトラコナゾール、チアベンダゾール、チフルザミド、チオファネート、チオファネート - メチル、チラム、チアジニル、トルコホス - メチル、トリルフルアニド、トリアジメホン、トリアジメノール、トリアリモル、トリアゾキシド、トリシクラゾール、トリデモルフ、トリフルミゾール、トリシクラゾール、トリフロキシストロビン、トリホリン、トリモルファミド、トリチコナゾール、ウニコナゾール、バリダマイシン、バリフェナレート、ビンクロゾリン、ジネブ、ジラム、ゾキサミド、N' - [4 - [4 - クロロ - 3 - (トリフルオロメチル

) フェノキシ] - 2 , 5 - ジメチルフェニル] - N - エチル - N - メチルメタンイミダミド、5 - クロロ - 6 - ( 2 , 4 , 6 - トリフルオロフェニル) - 7 - ( 4 - メチルピペリジン - 1 - イル) [ 1 , 2 , 4 ] トリアゾロ [ 1 , 5 - a ] ピリミジン ( BAS 600 ) 、N - [ 2 - [ 4 - [ [ 3 - ( 4 - クロロフェニル) - 2 - プロピン - 1 - イル ] オキシ ] - 3 - メトキシフェニル]エチル] - 3 - メチル - 2 - [ ( メチルスルホニル)アミノ]ブタンアミド、N - [ 2 - [ 4 - [ [ 3 - ( 4 - クロロフェニル) - 2 - プロピン - 1 - イル ] オキシ ] - 3 - メトキシフェニル]エチル] - 3 - メチル - 2 - [ ( エチルスルホニル)アミノ]ブタンアミド、2 - ブトキシ - 6 - ヨード - 3 - プロピル - 4H - 1 - ベンゾピラン - 4 - オン、3 - [ 5 - ( 4 - クロロフェニル) - 2 , 3 - ジメチル - 3 - イソキサゾリジニル] ピリジン、4 - フルオロフェニルN - [ 1 - [ [ [ 1 - ( 4 - シアノフェニル)エチル]スルホニル]メチル] プロピル] カルバメート、N - [ [ ( シクロプロピルメトキシ)アミノ] [ 6 - ( ジフルオロメトキシ) - 2 , 3 - ジフルオロフェニル] メチレン] ベンゼンアセタミド、- ( メトキシイミノ) - N - メチル - 2 - [ [ [ 1 - [ 3 - ( トリフルオロメチル)フェニル]エトキシ]イミノ]メチル] ベンゼンアセタミド、N' - [ 4 - [ 4 - クロロ - 3 - ( トリフルオロメチル)フェノキシ] - 2 , 5 - ジメチルフェニル] - N - エチル - N - メチルメタンイミダミド、N - ( 4 - クロロ - 2 - ニトロフェニル) - N - エチル - 4 - メチルベンゼンスルホニアミド、2 - [ [ [ 3 - ( 2 , 6 - ジクロロフェニル) - 1 - メチル - 2 - プロパン - 1 - イリデン]アミノ]オキシ]メチル] - ( メトキシイミノ) - N - メチルベンゼンアセタミド、1 - [ ( 2 - プロペニルチオ)カルボニル] - 2 - ( 1 - メチル - エチル) - 4 - ( 2 - メチルフェニル) - 5 - アミノ - 1H - ピラゾール - 3 - オン、エチル - 6 - オクチル - [ 1 , 2 , 4 ] トリアゾロ [ 1 , 5 - a ] ピリミジン - 7 - イルアミン、ペンチルN - [ 4 - [ [ [ ( 1 - メチル - 1H - テトラゾール - 5 - イル)フェニルメチレン] - アミノ]オキシ]メチル] - 2 - チアゾリル] カルバメート、ペンチルN - [ 6 - [ [ [ ( 1 - メチル - 1H - テトラゾール - 5 - イル) - フェニルメチレン]アミノ]オキシ]メチル] - 2 - ピリジニル] カルバメート、2 - [ ( 3 - プロモ - 6 - キノリニル) - オキシ] - N - ( 1 , 1 - ジメチル - 2 - ブチン - 1 - イル) - 2 - ( メチルチオ)アセトアミド、2 - [ ( 3 - エチニル - 6 - キノリニル) - オキシ] - N - [ 1 - ( ヒドロキシメチル) - 1 - メチル - 2 - プロピン - 1 - イル] - 2 - ( メチルチオ)アセトアミド、N - ( 1 , 1 - ジメチル - 2 - ブチン - 1 - イル) - 2 - [ ( 3 - エチニル - 6 - キノリニル)オキシ] - 2 - ( メチルチオ)アセトアミドおよびN' - [ 4 - [ [ 3 - [ ( 4 - クロロフェニル)メチル] - 1 , 2 , 4 - チアジアゾール - 5 - イル]オキシ] - 2 , 5 - ジメチルフェニル] - N - エチル - N - メチルメタンイミダミドから選択される(c)少なくとも1種の化合物をさらに含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の組成物。

#### 【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項に記載の組成物と、界面活性剤、固体希釈剤および液体希釈剤からなる群から選択される少なくとも1種の追加のコンポーネントとを含む組成物。

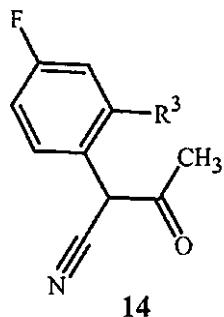
#### 【請求項6】

真菌性病原体によって引き起こされる病害から植物または植物の種子を保護する方法であって、殺菌・殺カビ的に有効な量の請求項1～5のいずれか一項に記載の組成物を前記植物または植物の種子に適用するステップを含む方法。

#### 【請求項7】

式14の化合物

## 【化17】

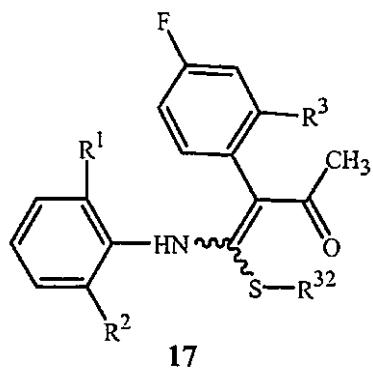


(式中、R<sup>3</sup>はC<sub>1</sub>またはBrである)。

## 【請求項8】

式17の化合物

## 【化18】



(式中、

R<sup>1</sup>はC<sub>1</sub>、R<sup>2</sup>はF、およびR<sup>3</sup>はC<sub>1</sub>もしくはBrであるか：または

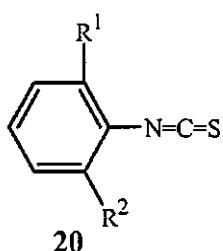
R<sup>1</sup>はBr、R<sup>2</sup>はF、およびR<sup>3</sup>はC<sub>1</sub>であり

R<sup>32</sup>は、H、CH<sub>3</sub>、CH<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>または(CH<sub>2</sub>)<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>である)。

## 【請求項9】

式20の化合物

## 【化19】

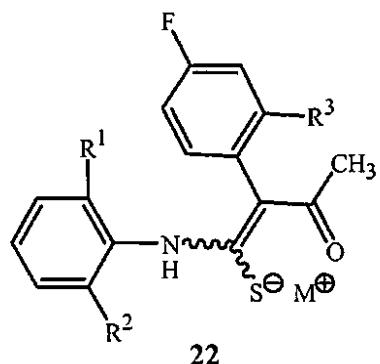


(式中、R<sup>1</sup>はBrであり、および、R<sup>2</sup>はFである)。

## 【請求項10】

式22の化合物

## 【化 2 0】



(式中、

$R^1$  は C 1 、  $R^2$  は F 、 および  $R^3$  は C 1 もしくは Br であるか : または

$R^1$  は Br 、  $R^2$  は F 、 および  $R^3$  は C 1 であり ; および

$M$  は Na または K である ) 。

## 【請求項 1 1】

化合物 (a) が、 4 - (2 - ブロモ - 4 - フルオロフェニル) - N - (2 - クロロ - 6 - フルオロフェニル) - 1 , 3 - ジメチル - 1 H - ピラゾール - 5 - アミンである、請求項 1 に記載の組成物。